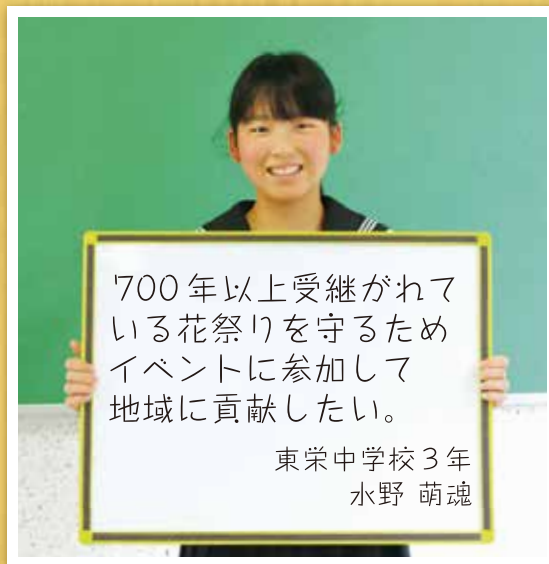
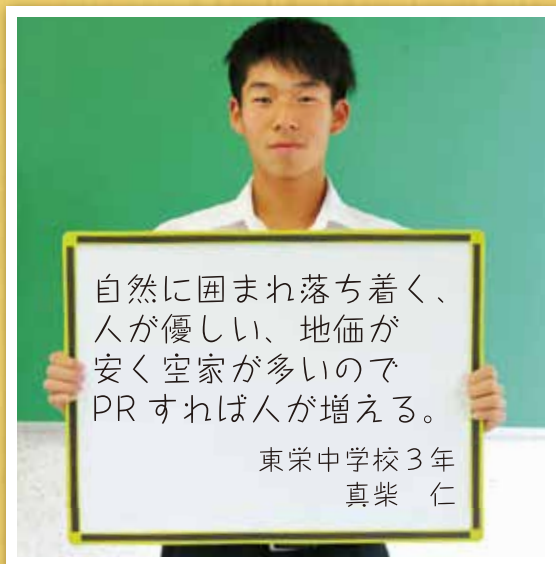


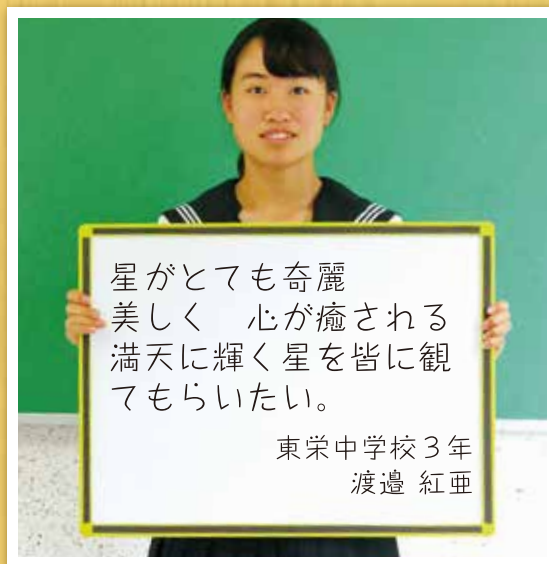


議会だより

とうえい



わたしの町とうえい 4 (令和3年度 3月卒業生)



もくじ

3月定例会報告(新規事業・審議結果・予算概要・委員会・討論)	P2-6
一般質問ダイジェスト	P7-10
わたしの町とうえい／人生なかよく	P11
ロシアのウクライナ侵攻に対する決議／議会活動報告／6月定例会予定	P12

3月定例会

会期・3月10日から22日までの11日間。
上程された案件は条例制定3件、条例一部改正12件、令和3年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算6件、令和4年度一般会計予算1件、特別会計予算12件、工事請負契約変更1件、物品売買契約変更2件、決議1件、規約変更1件。

令和4年度 新規事業

- 土地利活用に関する調査事業**441万1千円
今後の土地利活用等について住民の皆様と調査・検討。
- のき山学校耐震改修実施設計業務**425万7千円
東栄町体験交流館「のき山学校」の活用計画に基づき、安心・安全な施設として利用できるよう耐震改修等を進めるための実施設計。
- 病児保育事業**622万7千円
保護者の子育てと就労等の両立を支援し、保育サービスの充実を図る。
- 認知症地域支援体制づくり事業**61万3千円
住み慣れた地域で生活でき、支え合いの町づくりを進める。
- 農業振興地域整備計画の見直し業務**500万円
農業の振興を図るために、農業振興地域整備計画の全体を見直す。
- 遊休農地の解消と農地再生事業**450万円
耕作放棄地再生と再生農地での野菜生産、特産品づくり。
- 森林環境譲与税関連事業**3,562万2千円
森林資源を次世代に継承していくために森林分析・整備・境界確定を進め、地域材の利用促進への取組み。
- 要安全確認計画記載建築物耐震診断事業**179万6千円
避難所として指定している公共施設の診断(中設楽生活改善センター・老人憩の家「百寿荘」)。
- 消防施設拡充事業**1,377万3千円
消防団活動支援 小型動力ポンプ付積載車・栗代詰所 備品購入、消防施設撤去・修繕。
- 新診療所等建設事業**6億3,939万円
令和3年・4年継続事業(開所:令和4年11月1日)。

全員賛成で原案可決した案件

- 東栄町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 東栄町個人情報保護条例の一部改正
- 東栄町消防団設置条例の一部改正
- 東栄町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 東栄町使用料及び手数料条例の一部改正
- 東栄町国民健康保険条例の一部改正
- 東栄町における再生可能エネルギー発電設備の設置と生活環境等の保全との調和に関する条例の一部改正
- 愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更
- デジタルX線透視撮影装置物品売買契約の変更
- 全身用X線骨密度撮影装置物品売買契約の変更
- ロシアのウクライナ侵攻に対する議決
- 令和3年度東栄町一般会計補正予算(第14号)
- 令和3年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 令和3年度東栄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度東栄町簡易水道特別会計補正予算(第4号)
- 令和3年度東栄町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度東栄町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度東栄町医療センター特別会計補正予算(第6号)
- 令和4年度東栄町国民健康保険特別会計予算
- 令和4年度東栄町後期高齢者医療特別会計予算
- 令和4年度東栄町簡易水道特別会計予算
- 令和4年度東栄町公共下水道事業特別会計予算
- 令和4年度東栄町農業集落排水事業特別会計予算
- 令和4年度東栄町(御殿、本郷、下川、園、三輪、振草)財産区特別会計予算

賛否が分かれた案件

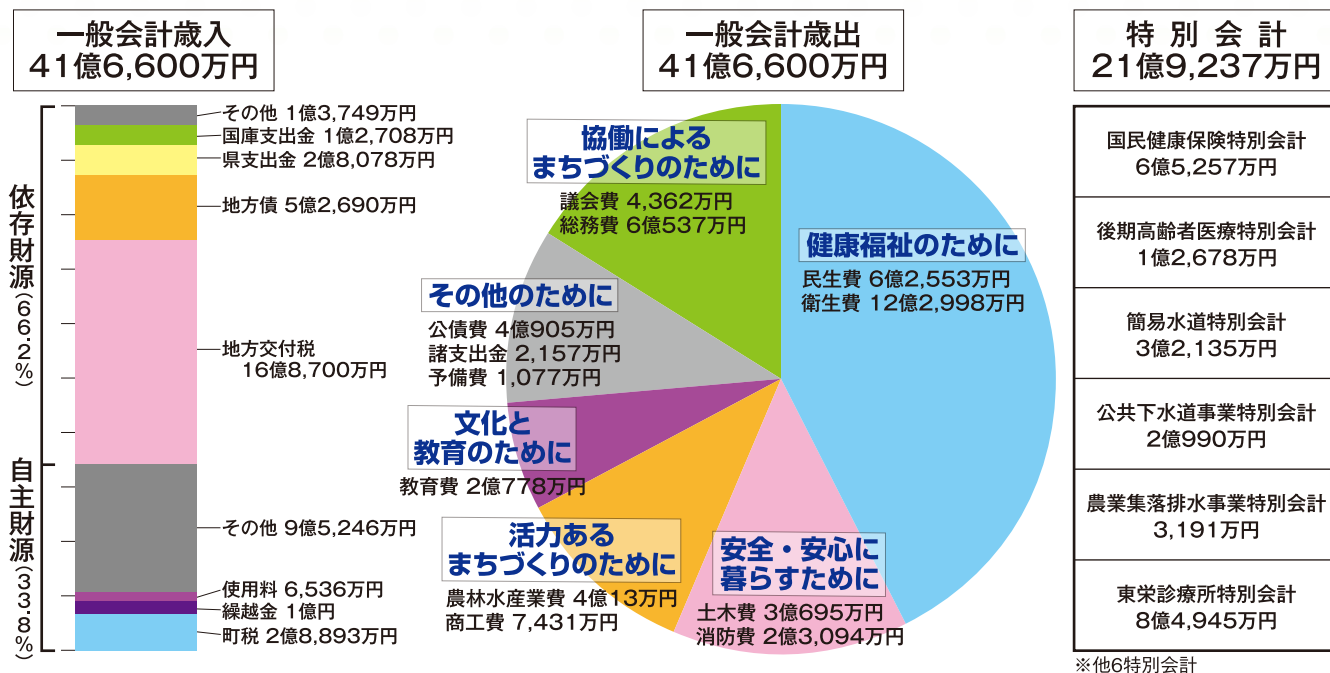
○= 賛成 ×= 反対

〈議席順〉

議 案 (議長は採決に加わらない)	浅尾 もと子	伊藤 紋次	伊藤 真千子	山本 典式	伊藤 芳孝	森田 昭夫	加藤 彰男
東栄医療センター(仮称)等新築工事請負契約の変更	×	○	○	×	○	○	○
東栄町保健・医療・福祉複合施設の設置及び管理に関する条例	×	○	○	×	○	×	○
東栄町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例	×	○	○	×	○	×	○
東栄町国民健康保険東栄診療所の設置及び管理に関する条例	×	○	○	×	○	×	○
町長等の給与の特例に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○
東栄町子育て支援センター設置及び管理に関する条例の一部改正	×	○	○	×	○	○	○
国民健康保険基金条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○
東栄医療センター特別会計設置に関する条例等の一部改正	×	○	○	×	○	○	○
令和4年度東栄町一般会計予算	×	○	○	×	○	○	○
令和4年度東栄町診療所特別会計予算	×	○	○	×	○	○	○
課設置条例等の一部改正	×	○	○	×	○	○	○

定例会議員別 審議結果

令和4年度予算概要



予算特別委員会

一般会計予算

問 自治体業務災害補償保険料31万円の対象者を伺う。

答 会計年度任用職員制度や特別職の任用の厳格化で災害補償制度が変更された。この保険は、公務災害の補償や町の補償条例で補償されない「おいでん家」ボランティア支援員、正副区長、委員会等の委員など有償ボランティアの業務災害を補償する。

問 のき山学校耐震改修実施設計委託料425万円。基本設計の概算事業費を伺う。

答 耐震改修工事、消防設備の設置、建築基準を満たさない渡り廊下の解体や代替の雨よけ設置等の概算工事費は約1億5300万円(税込み)。実施設計の予算が認められれば、その中で精査する。

問 町営バス運行管理委託料4601万円。新設の「東栄まちなか線」を三ツ石から川角まで延伸できないか。予約バスは「まちなかエリア」以外の全地域で平日毎日運行、当日予約可能とするこのことだが、高齢化が進む中で、家の近くまで乗り入れできないか。

答 まちなか線は、既存の東栄線を見直したもの

であり、川角地区は、東園目線という別の路線だ。まちなか線の運行開始に合わせ、他の路線も見直しするか検討中。予約バスは、路線バスの停留所とは別に専用のバス停を設け、自宅近くで乗降できる。自宅への送迎を望む意見があり、検討している。

問 町営バスDX化推進業務委託料104万円の内容及効果を伺う。

答 委託内容は、①新たな診療所のバスの待合に電子案内を表示する、②時刻表を二管理する。わかりやすく的確な案内表示で、バスを利用しやすくする。ダイヤ更新費用を抑え、作業効率を上げることによって持続可能な運営を行う。

問 森林環境譲与税が大幅に拡充された。森づくり基金をため込まず整備していくべきだ。譲与税を活用し従事者の確保や、森づくり基本計画の策定に取り組んでほしい。

答 基本計画は、森林環境譲与税や森林経営管理制度など、新しい財源や仕組みを活かして目指す方向をまとめる。4年度は現状分析や目標設定を進め、5年度に将来計画をまとめる。人材育成・人材確保を森づくり会議の中で検討したい。

問 戸別受信機の購入費47万円。3年度から大幅に減少した。町はアンケートで携

帯電話を持たない世帯を把握している。対象世帯への対応を伺う。

答 3年度の申請件数が予定より少なかったことから、4年度は10台分を見込む。今後、携帯電話を持たない世帯に声をかけて申請につなげたい。

問 福祉タクシー券の増額の理由を伺う。

答 内訳は、福祉タクシー券補助事業204万円、新規事業の重度身体障害者タクシー料金給付事業192万円。福祉タクシー券は、町内の医療機関等への通院に、重度身体障害者タクシー料金給付事業はレスパイト入院等で町外の病院を利用する場合に活用できる。

問 中設案の悪臭に係る臭気測定委託料は前年と同額の13万円だ。昨年10月の臭気測定結果は、基準値18以下に対して17。測定回数を増やすべきだ。

答 測定回数は3年度から1回とした。事業者は、元年度に脱臭装置を更新し、基準値内の結果が出ている。状況を見て対応したい。

問 タクシー券の対象者を支援2の町民の自活支援のため拡大する考えはないか。公共バスなどの移動手段を利用してほしい。

東栄町診療所特別会計

問 一般会計繰入金5億9433万円の内訳（運営費、診療所整備費、その他）を伺う。

答 診療所整備工事が3億7379万円。備品購入や引越し等の投資的経費8295万円、それを差し引いた額が1億3759万円だ。

問 4年度の診療所の人件費率を伺う。第三者の経営診断を受けるべきではないか。

答 人件費率は116%だ。外部のアドバイスが必要と思うが、今後も引き続き検討したい。

総務経済委員会

町長等の給与の特例

問 三役給与の5%減額は退職金に影響するか。

答 退職手当は減額後の給料月額で算出するため、影響する。

消防団設置条例の一部改正

問 団員数を195人以内から185人以内に減らす。現在の団構成を維持できるのか。

答 現在の消防団は、第1分団（御殿振草）25名、

第2分団（本郷三輪）38名、第3分団（下川園）28名、役場職員の本部班4名。年齢構成は、20代31名、30代65名、40代77名だが、消防団OBを再任命した地域支援団員78名を含む。若年層が減少しているが、支援団員の補助を受けて維持したい。

問 OBの支援団員にも公務災害補償や退職金があり、消防団員とほとんど差がない。消防団の定年を39歳から少しずつ上げていくべきではないか。

答 定年延長は今のところ予定していない。自主防災会、防災士、防災システムなどを駆使して町全体で取り組んでいく必要がある。

一般会計補正予算

問 とうえい温泉の経営状況と改善策を伺う。

答 新型コロナウイルスや燃料費高騰などの要因から、1月末で資本金3千万円に対し繰越利益剰余金が△2千5百万円になった。今後、修繕計画の見直しや指定管理者による点検・修繕を検討する。公認会計士や中小企業診断士の意見や民間の温泉施設の状況も参考に現状に合った運営にしたい。

問 コロナ対策費の新分野進出販路開拓等支援補助金706万円。概要と利用

件数、総額を伺う。

答 補助金の実績見込みは1360万円、当初の見込みより倍増した。利用事業者数は37件。飲食業、建設業、サービス業などで新たな客層のための施設改修や新設、飲食店の新メニューのための設備導入、PR広告動画やチラシ作成に活用されている。

問 財政調整基金に3億円を積み立てる。この先、庁舎建設は避けて通れず、庁舎建設基金に1億円ぐらい積み立ててもよいのではないか。

答 庁舎建設は将来的に見据えて進めていかなければならない。庁舎基金の積立ても検討したい。目的基金は目的が限定されるので、財調に積み立てて状況を見ながら検討したい。

文教福祉委員会

東栄町保健・医療・福祉複合施設の設置及び管理に関する条例

問 複合施設の設置管理条例に診療所等を盛り込む必要はないのではないかと。複合施設の設置管理条例は、建物一体を管理する上で必要だ。診療所、保健福祉センター、子育て支援センターそれぞれ条例をつくるのは、町が参考にした図書に「建物が一つでも、それぞれの部門の設置管理条例を定め、管理運営することが適当」との見解があり、4つの条例案を上げした。

答 複合施設の設置管理条例は、建物一体を管理する上で必要だ。診療所、保健福祉センター、子育て支援センターそれぞれ条例をつくるのは、町が参考にした図書に「建物が一つでも、それぞれの部門の設置管理条例を定め、管理運営することが適当」との見解があり、4つの条例案を上げした。

るの、町が参考にした図書に「建物が一つでも、それぞれの部門の設置管理条例を定め、管理運営することが適当」との見解があり、4つの条例案を上げした。

問 複合施設の総称や、社会福祉協議会への貸与条件は、いつ定めるか。

答 施設全体の通称・愛称を募集して決める。社協への貸与の条件は、これから決めた。

子育て支援センター設置及び管理の条例

問 現在の支援センターの開設時間は平日週3日午前10時〜午後3時までだ。変更はあるのか。また小学生も利用できるか。

答 4年度は開設時間を変更する予定はない。保護者が一緒なら小学生も利用できる。

国保基金条例

問 改正内容を伺う。

答 従来の条例では、基金の積立上限額を決算余剰金の2分の1以内としていたが、地方財政法では2分の1以上を積み立てなければならないと規定していることから、条例を改める。

一般会計補正予算

問 ごみ収集の回数が地域によって異なる。週2回、週1回、月2回、月1回の地域がある。収集する事業者・北設広域事務組合の費用を負担する町として収集回数を増やす考えはないか。

答 事務組合との取り決めで年度計画を立てている。計画は、世帯数などを根拠にしている。困っている状況があれば、町の担当課に連絡してほしい。

問 グリーンハウスなどの使用料・手数料の収入が減少した。町民に必要な施設なのか。

答 グリーンハウスはチェックイン・アウト等のイベント時に宿泊で利用することもあり、維持が必要と考える。森林体験交流センターの宿泊利用者は、ほぼ町外だ。今後の運営は施設運営協議会等で方向性を出していきたい。



本会議討論

東栄医療センター(仮称)等 新築工事請負契約の変更

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

無床診療所の工事を2ヶ月延長して11月開設とする議案だが、救急・入院・透析を求める立場から反対する。町長の公約「民間透析クリニック誘致」「緊急搬送の支援制度」は具体化されず、透析なし、入院の代替施設なし、丹羽センター長の移籍という事態では、無床診療所の計画自体の妥当性が問われる。

賛成 加藤 彰男 議員

この議案は既に着工されている工事の請負契約の変更である。契約上、事由により工期を変更する内容であり、議案に反対ならば「工期を延長しなくても工事が完了できる」という論拠を述べなければ反対にならない。反対討論にはその論拠がない。工事をより迅速に進める点から賛成する。

東栄町保健・医療・福祉 複合施設の設置及び管理 に関する条例

賛成4名・反対3名

反対 浅尾もと子 議員

①複合施設条例をつくる法的必要性がない。②収容する3施設の条例内容と重複する。③複合施設の交付金申請には国による条例のチェックが必要だ。町は、今なお「事前協議」を行っておらず、本条例案に対する厚労省の見解は未確認である。いま条例を制定することは拙速だ。

賛成 加藤 彰男 議員

新しい「保健・医療・福祉複合施設」は、医療センターの医療と、住民福祉課・社会福祉協議会が担ってきた保健・介護・福祉、旧御殿保育園の施設での子育て支援事業を、一体の施設で総合的に取り組む事業である。住民の命と健康を守り、子育てを支援する施設として賛成する。

反対 森田 昭夫 議員

11月から施行する条例で、その間2回も定例会があり、十分な時間がある。住民のための施設であり、説明会の時に反対意見等添えて住民の意見を聞いてから提案すべき。また、建物が一つであり設置条例は一つまたは3つにすべき。「東栄町国民健康保険東栄診療所」ではなく「東栄診療所」でよいではないか。「東栄保健福祉センター」「東栄町子育て支援センター」と「町」の名をつけるかつけないか統一性がないため反対する。

賛成 伊藤 芳孝 議員

条例制定は、年度が始まる当初の3月議会で上げるべきものであり、何の問題もない。

東栄町保健福祉センターの 設置及び管理に関する条例

賛成4名・反対3名

反対 浅尾もと子 議員

厚労省は、子育て支援センター内の診察室等を検診で使用する場合、「子育て支援センター」の休館時のみしか使用できず、図面上も別の施設であることは明らかであるため(国保調整交付金の)要件を満たさない」と指摘した。診察室等が保健福祉センター内にあるかのような記載は事実反する。

賛成 加藤 彰男 議員

全国の多くの自治体は保健センターを設置して、総合的な福祉・保健・介護の取り組みを進めている。県下の自治体で、東栄町は唯一「保健センター」が未設置であり、保健・医療・福祉の機能が分散してきた。住民の命と健康を守り、子育て支援を充実させる施策の拠点施設であり賛成する。

反対 森田 昭夫 議員

既に当該施設の設置条例は議決されているため必要ない。

名称等は、住民の意見を聞いてから提案すべきで、時間は十分にあるから反対する。

東栄町国民健康保険東栄 診療所の設置及び管理に 関する条例

賛成4名・反対3名

反対 浅尾もと子 議員

無床化に反対する立場から反対する。条例には9つの診療科目を掲げるが、町長は今議会でも診療科目の検討を口にした。条例制定後、診療科目の削減のおそれがある。町長は、医師確保の努力を怠り、失敗した事実を隠した。新たな診療所でも、さらなる医療崩壊を招くと考える。

賛成 加藤 彰男 議員

第5号・第6号議案において、複合施設設置は既に賛成としているが、現在の感染症対策を含めて住民の皆さんの命と健康を守る施設として、新しい診療所施設は重要である。本条例改正に賛成する。

反対 森田 昭夫 議員

「国民健康保険の被保険者の健康保持に寄与するため」とあるが、社会保険等、他の保険者も利用するため「町民の健康保持のため」とすれば、簡単・明瞭で他の条文も必要なくなる。診療科目は条文に

する必要はなく、勤務する医師が決めるもので、玄関には診療科目を表示する。どうしても条文にしたいなら「総合診療科」とか「外科・内科等」とすべきであり反対する。

町長等の給与の特例に 関する条例(改正)

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

町長・副町長・教育長の月給を、3年連続5%減額する議案だ。

減額後の町長の年収は1019万円。削減額178万円は「人事組織分析・研修業務委託料」にあてがうが、令和3年度には当該業務は実施されなかった。町政の現状では5割、6割カットでなければ町民の理解は得られない。

賛成 伊藤 紋次 議員

この条例は、三役の給料の自主返納を、再度1年間延長する旨の一部改正であります。その削減額の使途は、人事組織分析・研修業務等人事・管理体制の検証と職員の資質の向上等を計る研修にあて、パフォーマンスではなく、東栄町の現況及び将来の人事・財政業況を勘案した、実効性のある改正であり賛成する。

東栄町子育て支援センター設置及び管理に関する条例(改正)

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

新たな支援センターの運営時間は、火・水・木の午前10時～15時。豊根村や設楽町と比べて劣ったままだ。時間外の図書貸出も「検討中」だ。全国の自治体が国の施策を利用し保育士給与を上げる中、町は待遇を改善しない。保護者の願いは施設の新設ではなく運営の充実だと考える。

賛成 加藤 彰男 議員

現・子育て支援センターは子育てのお母さんや子育てグループの声に応じて、旧御殿保育園を活用してスタートした。新施設は町の子育て支援や移住定住も含めた必要な子育て支援として大切な事業である。旧御殿保育園の活用や小学校・保育園の連携も含めて、今後論議する必要がある。

国民健康保険基金条例(改正)

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

国民健康保険の剰余金を最大限「基金」に積み立てられる議案だ。基金残高は、現在、

町民の1年分の国保料を超え、条例改正の必要はない。基金を積み重ねれば、国保料を軽減できる。町は、県標準保険料率を大幅に下がっても国保料を下げず、コロナ禍で苦しむ町民に配慮していない。

賛成 山本 典式 議員

当該年度の剰余金は、次年度における予算編成の際の重要な財源の一部分でもあり、これによって一般会計からの繰り入れ金額を調整し、このことが結果的には保険料の抑制にもつながる。剰余金の適正な配分を考える事が必要で、基金に100%近い積み立てをするには一考を要すると思ひ賛成する。

東栄医療センター特別会計設置に関する条例等(改正)

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

特別会計の名称を「東栄診療所特別会計」とする議案だ。町は、東栄病院廃止から3年間、厚労省「医療広告ガイドライン」が「誇大広告」とする名称「東栄医療センター」を名乗り続けた。条例の提案にあたり、町長の反省や謝罪はない。真摯な反省がなければ、同じ過ちを繰り返す。

賛成 伊藤真千子 議員

東栄保健福祉センター及び東栄町国民健康保険東栄診療所を設置に伴い7つの関係条例の一部改正であり東栄町の将来の保健・医療・福祉を進めるために必要な条例改正である。

令和4年度一般会計予算

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

一般会計予算41億6千6百万円は、過去15年で最大規模だ。①複合施設整備費は総額12億5千万円を超えるが、町は総額を示さない。②無床診療所の前提だった在宅医療・介護体制が崩れた。③東栄まちなか線、のき山学校耐震改修、温泉への支出など多額の補正のおそれがある。

賛成 伊藤 芳孝 議員

厳しい財政状況にありながら、町民の要求も盛り込み、幅広いきめ細かい予算が組まれている。執行に当たっては、町民の要望、期待に十分こたえられるよう、適正に執行され、町長以下全職員が一丸となつて、最大の効果をもたらすよう期待し賛成する。

令和4年度東栄診療所特別会計予算

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

新年度の診療所運営費への一般会計繰入金金は1億3759万円。令和3年度は1億6312万円で、有床・無床の差は2553万円だ。交付税算定額は有床で年間5千万円を超えたが、無床で2千万円程度に激減する。有床より負担が増えるおそれがあり、有床を維持するべきだった。

賛成 伊藤 芳孝 議員

この10年、医療問題、病院問題に取り組んできた。昨年の大騒動により、一時は医療崩壊の危機があったが、賢明なる町民の皆さんの冷静な判断により、身の丈に合った医療改革が出来た。経営改善され、今まで以上に町民に信頼される診療所を目指し、努力されることを期待し賛成する。

課設置条例等(改正)

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

総務課に振興課を統合する点に反対する。全員協議会で、議員から「企画課(振興課)の暴走が起こる」との指摘が

出た。近隣で企画課を総務課に統合した自治体はない。企画部門だけが財政を司る総務課に接近することを懸念する。他町村がやらないことには慎重であるべきだ。

賛成 加藤 彰男 議員

全国の小さな自治体では課の構成が4課とか3課のところもある。目的別の組織を作つて縦割りにするのはなく、行政組織がネットワークすることで縦割りの弊害を減らしていくことが大切である。横断的な組織運営をおこない、新しい複合施設も含め行政を充実させていくことを求めて賛成する。





山本 典式
議員



町の財政状況について

問

(1)町長の公約に、改革は財政の健全化から始めるとの発言がある。大型施設建設工事（保育園、防災行政無線、新医療センター・保健福祉センター）については後戻りは出来ないが、財政面で心配している。過日町長は、町の財政についてこのように答弁している。（要点）①税収3億円を割り自主財源も年々減少、地方交付税に依存し全体の65%を占め独自事業の展開は非常に苦しい状況にある。②町の起債償還は令和6年度がピーク、年々減少し令和11年度以降は3億円になる。新医療センター等建設は、財政運営に影響は与えると思うが問題はない。端的に伺うが、非

答 総務課長

常に苦しい財政状況にあると認識しながら何故約24億円の大型施設建設事業に着手したのか。②町長は、東栄町の様な小規模の自治体はしっかりと行財政を見据え、中・長期計画により行わないと大変厳しい財政状況になると発言。精度の高い財政シミュレーションで健全財政を維持できるか確認すべきではなかったのか。

(1)住民サービスの影響が出る見込みはないと判断。起債も過疎債といった交付税措置がある。樂觀視はしてはいないが運営には影響ないと見込んでいる。②減債基金などを活用する事から住民

サービスの影響は出ない。

問

(1)東栄町が存続する限り何としてでも健全財政は維持すべきであり、町長も、後世に負担をかけない形で建設を進めると公約している。健全財政の公約は大丈夫と断言できるのか伺う。②町長は、移住定住等に取り組んでいるが、経常経費の支出が増加となり、本町の財政運営は注意が必要と発言。町長自ら現状の財政に警鐘を鳴らしているが、危機的状況と理解してよいのか伺う。③町長の財政状況について、これだけの深刻さを持ち発言をするのなら、議会はもとより町民に苦しい状況を説明すべきではなかったのか伺う。④町長は、最終的には「現状の様な苦しい状況がこのままの状態が続けば財政破綻の状況になる。」と明言。交付金確保に失敗した後、即過疎債で手当てをして建設続

答 町長

(1)今の状況でいけば将来の見通しは大丈夫と思う。②人口も減り税収も3億円を割り自主財源が見い出せない中で、苦勞している。③その都度議会に諮りそうした状況を示している。④ほとんどが依存財源に頼るしかない。財政状況は厳しいが、現在進めている事業は全然問題はない。

(1)副町長は「事業の展開、財源確保の点からもきちんとした財政計画を立てて進んでいきたい」と発言。過疎債で手当てをして建設を続行した事は財政計画に基づく判断か伺う。②建設当初、起債は3億円だったのが、現在は6億6千万になっている。想定内の起債額か伺う。③建設費の半分以上を借金で建てる事になる財政

行に走った事は明らかに間違った決断と思うがどうか。

答 副町長

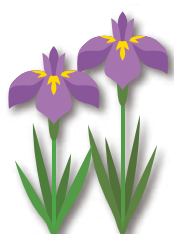
(1)過疎債は交付税で7割補填充当がある。起債償還を立てる中で大丈夫と判断。②1億4千万円の分を振り替え作った時、その計画でやっていけると判断。③過疎債は大きい強い財源であってうまく利用する事が私達の手法である。

問

町長は、財政健全化のため、種々の公約をしたが、ほとんど有言不実行。実行しないなら公約に掲げないで欲しい。どうか。

答 町長

努力しながら総合計画を立て将来の財政を見据えながら今の事業を進めてきた。





加藤 彰男
議員



住民の期待に応える行政運営について

自治体の内部統制と組織の在り方

問 はじめに3月11日は東日本大震災から11年目となり、避難生活の再建を含め震災の真の復興を願います。2月24日のウクライナへのロシアの侵略に対して、1日も早く侵略は止めさせ、平和なウクライナに戻ることをお願いします。

まだ導入していない。

答 総務課長
今後検討を進めたい。職員の認識・理解を深めるために研修会等も検討を進めたい。

問 今まで内部統制の議論や研修会などしてきたか。また今後の予定は。

答 総務課長
今後検討を進めたい。職員の認識・理解を深めるために研修会等も検討を進めたい。

問 2019年に自治体の内部統制の国の「導入実施ガイドライン」が出された。翌年に都道府県と指定都市で内部統制制度運用が開始され、多くの市町村は、努力義務とされたが、東栄町の考え方はどうか。

答 総務課長

内部統制は「業務の効率的かつ効果的な遂行」「業務に関わる法令等の遵守」などが目的。全ての業務、組織で遂行されるプロセスと考えるが、

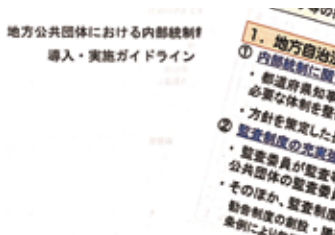
答 総務課長
指摘の通りであり、検

討していきたい。

問 取り組みのために県や広域連合の他市の支援はどうか。国の議論でも小規模な市町村には国や都道府県が必要な情報提供や助言等を行っていくべきとされている。

答 総務課長

県や広域連合の自治体の協力・指導頂き、豊橋市をはじめ先進事例を参考に取り組みができればと考える。



国の内部統制ガイドライン

町から住民への情報のあり方について

問 12チャンネルの利用設定、スマートフォン、受信機の対応等はどうなっているか。今後の対応は。

答 総務課長

とうえいチャンネルの設定はほぼ完了している。戸別受信機は申請が32件で貸与決定は19件。貸与の情報提供、とうえいチャンネルの視聴などを促進していきたい。

問 役場全体で各課が出している情報（紙・デジタル）は把握されているか、その公開方法の検討はどうか。

答 総務課長

情報は全体的に把握し切れていない。ホームページ、とうえいチャンネル、広報紙等での情報提供は、統一した手続きで配信している。窓口では必要な手続きが適切に提供できている。

問 内部統制でも、業務の効率化と組織管理の重要性が指摘されている。ICTへの対応として情報の伝達・共有・体制なども挙がっている。情報の取り組みを、課で進めている事例はどうか。

答 経済課長

課の会議で、業務の効率化と住民への情報提供が課

題になり、情報をどの手段と組み合わせるか検討している。ファイルの保管やデジタル管理を近隣の自治体へ調査研究している。

問 情報も、県や東三河の市町村の支援・連携で、「情報の在り方」などの基本指針を作っていく必要があると思うが。

答 総務課長

基本方針はないので、必要に応じ、先進的事例も参考に検討を進め、研修会を開くことが大切と考える。

問 情報伝達・ICTは、内部統制と密接な関係があり、首長には「権限と責任」がある。町長の考えは。

答 町長

内部統制も含め、今後研修等を通し、状況を把握していきたい。豊橋市のような先進事例も参考にしていきたい。ICTの計画的な整備も不十分で、財務会計含め各課の情報提供や組織全体で情報共有に努力したい。



浅尾もと子
議員



村上町政のもと破壊された町の医療を再生するために

問 新年度の常勤医師3名体制は整ったか。

答 医療センター事務長

人事に関するため現段階では答えられない。

問 丹羽センター長が4月から豊根村診療所へ行く理由を直接、聞いたか。

答 町長

無医地区を救うための思いから決断されたと思ふに思っている。

問 ①訪問診療を行う患者への24時間365日の体制は整ったか。②令和3年の医療センターの往診・訪問診療の回数は。

答 医療センター事務長

①できる見込みだ。

②往診件数は72件。訪問診療は409件。

問 地区懇談会の開催はいつか。

答 住民福祉課長

コロナ禍の影響もあり未定だ。

問 町の報告では、在宅療養の患者の急変時の入院先・後方支援病院は、新城市市民病院のみだ。町長は、佐久間病院・浜松市・新城市消防本部と協議したか。

答 住民福祉課長

町長は行っていない。昨年12月、事務長と監理官が佐久間病院長らに町の患者の時間外対応をお願いした。

問 令和3年の救急搬送所要時間は、東

栄町81分、設楽町90分、豊根村99分、北設楽郡は平均88分だ。昨年末に亡くなった高齢の町民は、通報から救急車の到着まで20分、心臓マッサージをしながら新城市市民病院に搬送されたが助からなかった。死亡診断書に死因「不明」と書かれたため、遺体を自宅に搬送したあと警察の現場検証が行われた。救急・入院なしの体制で、町民の命を守るか。

答 町長

事例は残念なことであり、ご冥福を祈りたい。救急搬送の判断は救急救命士が行う。東栄診療所では医療・介護コーディネーターの養成を進めたい。

問 町は平成30年の「基本計画」で、訪問介護サービスを「日曜日、祝日及び早朝夕方方の時間帯も提供できるよう体制を整える」と明記したが、実施しているか。

答 住民福祉課長

日曜日までは実施していない。

問 新設する「在宅医療・介護コーディネート

ネットワーク」の概要は。

答 住民福祉課長

職員2〜3名、相談受付時間は平日8時半〜17時15分を予定。医療的ケアが必要な町民や家族に関わる専門職の連携体制を構築する。

問 町長の新公約①透析の民間クリニック誘致、②緊急搬送の新たな支援制度の進捗を伺う。

答 住民福祉課長

①相手があるので回答は控える。②本当に支援が必要か検討中。

新型コロナウイルス対策を求める

問 自宅療養者に医療センターが訪問診療を行う考えはないか。

答 医療センター事務長

実施の考えはない。

問 自宅療養者・自宅待機者への食糧支援、買物代行サービスは。

答 住民福祉課長

食糧支援、買物代行サービス等を行う場合、

物資調達を業者が、配達を町職員が行うことを考えている。

町職員の不祥事への町長の対応を問う

問 町は、①平成28年4月、岡崎市内で盗撮行為を行った職員を減給6か月の懲戒処分、②令和3年4月、就業直後に飲酒の上で車を運転した職員を訓告処分とした。町長の対応に不十分点はなかったか。

答 町長

いずれも規定に基づいて処置した。



佐久間病院（静岡県浜松市）



伊藤 紋次
議員



町の地域防災力

問 現在の消防団員数は94名、来年度は定数185名、基本団員80人体制になるが地域防災力は万全か

答 総務課長

消防団員はここ10年で15名程減少しており、今後も続くと思う。地域防災力は、整備した防災システムの利活用、地域支援団員、防災士、自主防災会、各種団体等の連携をさらに強化し、町全体での地域防災力を上げることが必要だと考えている。

問 各地で生命・財産が脅かす大規模災害が頻繁に発生しているが備えはできているか

答 総務課長

災害が発生したときには、第一に自助、共助により、自分自身、家族の身の安全を守ることが大切である。町では防災マップ及び防災マップのウェブ版を作成・配布します。また、役場では、BCP、業務継続計画に基づき対策を実行し、現在策定中の受援計画により、他の地方公共団体や民間企業、ボランティアなどの応援を最大限活用することで対応したいと考えております。

医療センターについて

問 新しい診療所の目指す医療は

答 医療センター事務長

新しい診療所は、在宅

医療支援診療所として、在宅医療推進するとともに東栄保健福祉センターの様々な機関や機能と連携して、第6次総合計画が目指す支え合う健康福祉のまちづくり、子供から高齢者まで、健康で生きがいを持つて自立した暮らしができるための一助となるべく運営をしていきます。併せて経営面につきましては、公衆衛生業務を始めとする収入の増額及び支出の軽減に努め繰入金額の減額に努力していきます。

ウィズコロナ・アフターコロナ社会

問 民俗芸能と文化の継承への対応

答 教育長

花祭りを初めとする文化財行事を元の形で実施するためには、かなりの労力が必要となる。長い歴史の中でコミュニティを基盤として成り立っていた大切な行事であるので、コミュニティ

の再生を含めて復活を目指す。一つの文化をなくすことは簡単ですが、一度失われた文化は甦りません。一つ一つの文化の価値を町民の皆様と共有し、次の世代に引き継いでいく助力になるよう働きかけていきます。

問 社会経済活動への対応

答 町長

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は、長年蓄積してきた経験やノウハウ、確立してきた仕組みが通用しない、かつて経験のない、したことの無い異常事態だと思っています。

アフターコロナの社会は、世の中の価値観や行動様式が大きく変わることで予想されますので、住民の暮らしの充実や山間地域の課題解決につながる事業を進めていきます。特に地理的位置や規模等のハンディキャップ

を克服するデジタル社会の推進は必須でありますので、ハード・ソフトの環境基盤の整備を進めていきます。それから、コロナ禍後の社会を見据えた時、子供たちが寄り添えるふるさと・地域づくりをすることが、私たちの使命であると考えます。そうした新しい時代に、合致した取り組みを進めて、地域の活力と安全安心を取り戻せるよう、全力を傾注してまいります。

その他の質問事項

- ・森林体験交流センターについて
- ・とうえい温泉について
- ・簡易水道について



東栄中学校の校歌と校訓

校歌

作詞 伊藤 元
作曲 丸山 吉一
編曲 鳥居 惇子

- 一 白絹の もや 晴れわたり
東山 緑 さやけし
学舎は 朝日に映えて
若人の 胸は高鳴る
- ① 命ひとしと 守り
鍛えたる 強き からだ
いざ 励まん
理想の 灯 高く掲げて
- 二 梢吹く 風 すずやかに
歴史秘め 遺跡 鎮まる
その昔の 思いをうけて
ふるさとの 明日を開かん
- ② 真理深く 究め
めざしゆく 高き 知性
いざ 試さん
次代を担う 若き力を
- 三 秀でたる 嶺 むらさきに
夕映えの 空に 際立つ
その影を 映して悠久に
大千瀬の 流れはやまず
- ③ 誇り高く もちて
道聴く 直き 心
いざ 進まん
未来に向かう 歩み雄々しく

校訓

東栄中の校歌には、「東中の朝昼夕」、町の教育理念の「天・地・人」、東栄町の豊かな自然、本校の教育目標「自ら学び 心豊かにたくましく」が歌い込まれています。

- ①は「健康でたくましい生徒」
②には「自ら学ぶ生徒」
③には「心豊かな生徒」

生徒たちは、この校訓と校歌のもとで、三年間勉強・運動に励みます。

令和3年度に18名が卒業し、令和4年度は14名が入学しました。校訓と校歌の思いを共有しながら、未来に向かつて雄々しく歩みを進めていきます。



小中学生の様子は、学校ブログからもう知ることができます。ぜひ訪ねてみてください。



東栄小



東栄中

No.4

人生なかよく 結婚58周年を迎えられた大平様

仲睦まじく共に力を合わせ、ご家庭の繁栄と町の発展に寄与され結婚58周年を迎えられたご夫婦を紹介します。

人口減少・少子高齢化が進む中で、高齢者介護・福祉のあり方等課題となっています。長い人生を生きるためのお手本として、町の未来を照らすヒントを教えてくださいました。ありがとうございます。

Q 仲良く長く過ごせる秘訣を教えてください。

A 住民健診を受けそれに伴う治療や食生活の充実を心掛けています。

Q これからの目標は。

A 作った野菜を2人で直売所で売り、観光客や地域の皆さんと話し、元気に楽しく過ごすことです。

Q 町や議会に望むことは何ですか。

A 診療所経由バスを月2回作って欲しい。予約バスが家の近くまで来て欲しい。



大平ミキエさん

久さん

令和4年3月10日の東栄町議会本会議において次の決議文を 全会一致により議決しました。

ロシアのウクライナ侵攻に対する決議

2月24日のロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して世界各地で抗議と非難の声が上がっている。

武力を背景にした一方的な現状変更は、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法と国連憲章への重大な違反であることから、断じて容認することはできない。

よって、本町議会は、ロシア軍による侵略に抗議するとともに、ロシアに対し即時に攻撃を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求めるものである。また、国に対しては、ウクライナに在住する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、我が国への影響対策について万全を期することを求めるものである。



《議会活動報告》

30 24	22 18	16 15 11	10 7 2	3月	28 24 18 10 8	26	21	19 13	11	9 7	1月
北設広域事務組合議会臨時会	新設北設梁交通災害共済組合議会定例会	議会報編集委員会	東栄小学校卒業式	東栄中学校卒業式	北設広域事務組合議会定例会	東三河広域連合議会定例会	東三河三河広域連合議会	医療センター・保健福祉センター整備グループ及び6つの強化策推進合同統括会議	愛知東農協新春農政懇談会	東三河8市町村長を囲む新春懇談会	
			議会運営委員会	二遠南信地区地域懇談会	議会議長会	議会議長会	全員協議会	協議会	協議会	新城市消防出初式	
			第1回定例会初日	第1回定例会初日	郡正副議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			予算特別委員会	予算特別委員会	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			一般質問	一般質問	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			予算特別委員会	予算特別委員会	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			総務経済委員会	総務経済委員会	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			文教福祉委員会	文教福祉委員会	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			全員協議会	全員協議会	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			東栄小学校卒業式	東栄小学校卒業式	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			第1回定例会最終日	第1回定例会最終日	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	
			議会報編集委員会	議会報編集委員会	議会議長会	東三河広域連合議会定例会	東三河広域連合議会	協議会	協議会	東栄町成人式	

6月定例会の予定

- 本会議は午前10時から開催します。
(日程は変更になる場合もあります)
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせ
ください。(電話 0536-76-0505)

6月 8日(水)	本会議(議案上程・説明・質疑)
6月 9日(木)	本会議・一般質問
6月 14日(火)	総務経済委員会・文教福祉委員会
6月 16日(木)	本会議(委員会報告・討論・採決)

編集委員会 委員長：伊藤真千子／副委員長：加藤 彰男／委員：浅尾もと子

発行責任者 議長：原田 安生



とうえい議会だよりは、環境に優しい
植物油インクを使用しています

発行／東栄町議会・議会だより編集委員会
〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505